



2012年11月30日

大和ハウス工業株式会社
代表取締役社長 大野直竹
大阪市北区梅田 3-3-5

**■建築事業 海外進出第二弾 インドネシア共和国のパートナー企業の株式取得
インドネシア・ブカシ地区の工業団地開発事業に参画**

大和ハウス工業株式会社（本社：大阪市、社長：大野直竹）は、2012年11月30日、インドネシア共和国のマヌンガルグループの不動産開発会社アルゴ マヌンガル ランドディベロップメント^{※1}（以下、AMLD社）より、AMLD社の子会社で工業団地の開発・造成を行っているブカシ ファジャール インダストリアル エステートの株式の約10%（約10億株）を取得しました。

今後当社は、2013年よりBEST社が西ジャワ州ブカシ地区にて開発中の工業団地事業に参画し、地域の活性化を図っていきます。

また、当社グループが保有する経営資源（建築物の調査、設計、施工、建物の管理・運営に関するノウハウ）を組み合わせ、海外で工場や物流施設等を検討されている日系企業様や世界各国の企業様に対して誘致活動を行っていきます。

※1. 正式名称：PT Argo Manunggal Land Development

1. 株式を取得する会社の概要

(1) 商号	ブカシ ファジャール インダストリアル エステート (PT Bekasi Fajar Industrial Estate Tbk：略称 BEST社)
(2) 代表者氏名	取締役社長 フンカン ストゥヤ (Hungkang Sutedia)
(3) 本社所在地	インドネシア共和国 ジャカルタ市ジェンド ガトット スプロト 通り 22 番アルゴ マヌンガルビル 10 階
(4) 設立年月日	1989年8月24日
(5) 資本金	8,765 億ルピア 日本円：約 74 億円 (2012年9月末現在) (1ルピア=0.008円換算)
(6) 事業内容	工業団地の開発・造成、工業団地内インフラ関連サービス、 休養施設の運営等
(7) 上場取引所	インドネシア証券取引所
(8) 売上高	4,759 億ルピア 日本円：約 40 億円 (2011年12月期)
(9) 従業員数	101名 (2012年9月末現在)
(10) 事業年度	1月1日～12月31日
(11) 取得株数	964,750,000株 (取得金額は非公表)

2. 開発中の工業団地について

「ブカシ ファジャール インダストリアル エステート (以下、BFIE)」は、ジャカルタの中心地より東に約 25km の西ジャワ州ブカシ県チビトン地区にあり、企業の製造拠点や物流拠点など事業展開に沿った大型施設の新設が可能な工業団地です。

開発中 (開発済・開発予定地含め) の工業団地の総面積は東京ディズニーリゾート (東京ディズニーランド・東京ディズニーシー : 約 100 ha) の約 13 倍の 1,350ha です。

ジャカルターチカンペック高速道路「チビトン インターチェンジ」から約 3.5 km、ジャカルタの中心地 (スマンギ) まで約 25km、インドネシアの最大級のコンテナ取扱量を誇る国際商業港湾「タンジュンプリオク港」まで約 40km、「スカルノハッタ国際空港」まで約 50km とアクセスしやすい絶好の場所に位置しています。

また、近隣には日本の商社が開発に関わった「MM2100」や「イーストジャカルタインダストリアル」、「グリーンランドインターナショナルインダストリアルセンター」等の工業団地があり、多くの日系企業が進出しています。

●開発予定の工業団地の概要

(1) 名称	「ブカシ ファジャール インダストリアル エステート」 (Bekasi Fajar Industrial Estate : 略称 BFIE)
(2) 所在地	インドネシア共和国西ジャワ州ブカシ県チビトン (Cikarang Barat, Bekasi 17520, West Java, Indonesia)
(3) アクセス	ジャカルターチカンペック高速道路「チビトン インターチェンジ」より車で約 3.5 km (車で約 4 分) ・ジャカルタの中心地まで約 25km (車で約 40 分) ・ブカシの中心地まで約 10km (車で約 15 分) ・タンジュンプリオク港まで約 40km (車で約 110 分) ・スカルノハッタ国際空港まで約 50km (車で約 120 分)
(4) 総開発面積	1,350ha (4,083,750 坪)
(5) 土地権利	土地建設権 (HGB) 他者が購入した土地に建物を所有する権利。30 年に加えて、20 年の延長とさらに 30 年の更新が可能。(最大 80 年間まで)

3. インドネシアについて

インドネシアは、人口約 2 億 2,800 万人と世界第 4 位の人口を擁し、2030 年には 2 億 8,000 万人^{※2}に増加すると見込まれている新興国です。労働人口となる若年層も多く、合計特殊出生率も 2.25 と高く推移しており、潜在的な労働力を持つ国です。

経済面では GDP 成長率は 6%を超え、高い経済成長率を維持しており、天然ガスや石炭などの豊富な天然資源も有しているため、今後も経済成長が見込まれます。

既に 1,000 社以上の日系企業が進出しており、今後もアジアやその他の国の成長を取り込むべく、多くの企業がインドネシアへの進出を検討しています。

※2. 「World Population Prospects : The 2010 Revision」の将来推計人口の中位推計値を参照。

4. 今後について

当社は、「BFIE」の開発に向け、役員を派遣し、インドネシアにおける工業団地開発のノウハウを取得し、「BFIE」での物流施設や工場等の建設を請け負うとともに、今後の事業展開につなげていきます。

■当社初の海外での工業団地開発について

(ベトナムでの工業団地開発ならびに建設請負業)

当社は現在、双日株式会社、株式会社神鋼環境ソリューション、ドナフード社と共同でベトナム社会主義共和国南部ドンナイ省ロンタン地区において、ロンドウック工業団地を開発中です。当社としては海外初の工業団地開発となります。

ロンドウック工業団地は、総面積は270ha（東京ディズニーランド6個弱）、総事業費は約1億米ドルです。2012年3月より造成工事に着手、2013年8月頃インフラ完成及び工場稼動を目標としています。

また、ベトナムでの建築請負事業については、日系進出企業から工場建設の設計・施工を請負い、2012年11月に2件、12月に2件（計4件）を着工します。

当社は今後も国内での工業団地の実績をもとに、アジアの新興国で工業団地開発ならびに建築請負事業を手がけていきます。

●位置図



以上

お問い合わせ先		
広報企画室	広報グループ	06-6342-1381
	東京広報グループ	03-5214-2112